

# 地域サポーターの紹介

ふじみ野  
交流センター

049-261-5371



えんどう ひろし  
遠藤 洋さん  
(渡戸在住)

リコーダーアンサンブル・  
アンダンティーン代表

## リコーダーの音色

を届けます

「会社人間としてのひと区切りがつき、これからの生活を人の役に立つような潤いのあるものになりたいと考えていたとき、平成23年にふじみ野交流センターが開催した「初心者リコーダー講座」に参加しました。この講座は、子どもや孫が使っていたリコーダーに再び命を与えよう。そして、親や祖父母たちがリコーダーを吹きこなせたら楽しい活動になるのではないかとという内容でした。

講座修了後に、参加者数人で「リコーダーアンサンブル・アンダンティーン」を立ち上げました。初めは楽譜の読み方・指使い・タンギングの仕方などたくさん覚えることがあり大変でしたが、曲に厚みを持たせるために皆で



演奏のようす

アルトリコーダー、テナリリコーダー、バスリコーダーにも取り組み、現在は演奏曲も増えて、ますます楽しい活動になってきました。

「富士見市市民人材バンク」にも登録し、保育所(園)や介護施設、そして地域交流事業からの依頼を受けて演奏活動をしています。介護施設などで皆さんが元気な声で歌ってくださいることがとても励みになります。最近、「リコーダーの皆さんはほんわかして、アットホームなサークルでいいですね」とよく言われます。とても嬉しいのですが、「演奏が上達しましたね」と言われるよう精進したいと思っています。ご依頼がありましたら、ぜひ気軽にご連絡ください。

## 手話で楽しもう

問合せ/障がい福祉課 ☎327

### 富士見市手話言語条例について

富士見市手話言語条例は、平成27年12月15日に制定され、この12月で1周年となります。この条例は、「手話は言語である」という認識に基づき、手話に対する理解を深め、広く普及することと、手話を使う市民が安心して日常生活を送ることができる環境の整備を進めることで、すべての市民がともに生きる地域社会の実現を目指すものです。

条例は、あいサポート運動や手話通訳者の養成と派遣事業を共同で実施している三芳町と検討委員会を設けて、市町の聴覚障害者の会や手話サークル、手話通訳者などの関係者、行政職員で構成される委員会が6回にわたる会議を開催し、出された意見を参考にとりまとめました。市と町と一緒に条例制定に向けて検討することは、全国でも珍しいことでした。

市では手話を広めていくために、この条例の制定後、手話に関するコラム連載と手話を紹介するAR動

画の公開などの取り組みをしています。

その一例として、まちづくり講座(出前講座)に「みんなで楽しく手話をやってみよう～はじめての手話～」を設けましたので、ぜひご利用ください(講座の詳細については、市ホームページをご覧ください)。

※下記に掲載の写真から、AR動画が見られます。AR動画の利用方法など詳しくは、市ホームページをご覧ください。



### ～ 今月の手話 ～ プレゼント



※プレゼントを渡すように

### クリスマス

